

## 第5回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模ホーム あんきな

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日 時：令和8年1月21日（水） 9：30～10：30

場 所：会議室

出席者：6名

駐在所巡査長	0人	知見を有する者	1人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人	民生委員	0人
事業所職員（職名：管理者、GH主任、）			2人

### 報告事項

#### 1. 登録実績と利用状況（R7.12月現在）

現在登録者数	11月	12月	新規登録者数	11月	12月
男性	3名	2名	登録 終了者数	0名	1名
女性	16名	17名		11月	12月
計	19名	19名		1名	1名

※最少年齢 61歳 最高年齢 98歳 平均年齢歳 85.7歳（12月）

令和7年度 サービス利用状況：定員25名（令和7年12月現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	21	20	20	21	21	20	22	19	19	18			
延人数	558	594	541	593	597	576	621	545	539				
実稼働率	78.4%	76.6%	72.1%	76.5%	77.4%	76.8%	80.1%	72.6%	69.5%				
通い/人	282	308	310	343	351	330	385	322	317				
泊り/人	62	105	131	147	154	102	130	132	137				
訪問/回	315	305	223	246	274	302	309	239	259				
支援1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0			
支援2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3			
介護1	5	5	5	5	5	4	4	3	3	3			
介護2	7	7	7	8	7	7	7	5	6	6			
介護3	3	2	2	2	2	2	4	3	3	3			
介護4	2	2	2	2	4	4	4	5	4	3			
介護5	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0			

地域別利用状況（令和7年12月現在）

波根	久手	大田	鳥井	五十猛	静岡	鳥井	温泉津
4人	6人	4人	1人	1人	1人	1人	1人

利用者の世帯状況（令和7年12月現在）

独居	配偶者（高齢）のみ	子等と同居
8人	4人	7人

## 2. 活動状況報告

### ①定員超過報告（定員：泊り6人、通い15人）

- ・11/1（土）、11/3（月）泊り1人超過、理由：介護者の都合
- ・12/27（土）12/29（月）泊り1人超過、理由：介護者の都合

### ②行事報告

12/25（木）、12/26（金）クリスマス会

### ③外部評価関連報告

#### A 事業所評価関連

##### 【地域包括ケアを担う活動】

目標：行政やサービス機関との会議、波根地域の活動・イベント等に参加する機会を増やす  
→11/8（土）波根町文化祭の作品出展

- ・国が実施を求める介護給付適正化事業の取り組み：12/17（水）ケアプラン点検実施
- ・仁万図書館への外出

##### 【質向上の取り組み】

目標：年間研修計画に応じて実施する

- ・12/12（金）～12/26（金）全職員対象
- ・手洗いシミュレーション研修（手洗いチェッカーを用いて手洗い手順の適正化を図る）
- ・PPEシミュレーション研修（手指衛生から個人防護具の着用脱衣までの手順）
- ・12/17（水）救急蘇生法 3名参加
- ・12/19（金）ユニ・チャーム腰痛予防のオムツの当て方 2名参加
- ・12/29（月）BCP訓練（自然災害）

#### D 地域に出向いて本人の暮らを支える取り組み

目標：利用者の個々の馴染みの地域や場所について一覧化し、計画的に地域へ外出する支援を行う

→波根町文化祭行事への参加、朝波小学校児童下校時の見守り活動、久手町通いの場での活動支援を実施。令和8年度を持って朝波小学校が統廃合となり久手へ移る予定である為、次年度以降の見守り活動はニーズがあればと考えている。

（意見）毎月の協議会に参加して現状決定していることは学校名と送迎バスの便数である。

「児童クラブがどうあるべきか」「波根文化祭で朝波小の展示などまちセンとの繋がりが無くなることで地域が衰退する」ことへの懸念もある。

→微力ではあるが、事業所としても協力や連携することがあれば会議を通じて相談して頂く

**F 災害協力**※本日外部評価実施。 詳細は地域かかわりシート参照

目標：災害の規模や種類に応じた災害訓練を計画的に実施する

→【火災想定避難訓練】年2回実施：7/16（水）夜間避難想定、11/19（水）日中避難訓練  
今年度はより効果的な避難が行えるように本部との連携を強化することで目標避難時間（15分以内）を達成できた。

- ・内部の職員と連携がスムーズに図るようインカムを活用。
  - ・ホワイトボードを活用して避難状況を「見える化」し応援者との情報共有。
- 今後は職員の機器操作周知やマニュアルの見直しが課題。

→【BCP（自然災害）訓練】 1月16日実施した。

事業所におけるBCPを実用的なものに更新していくために、机上訓練（マニュアル読み合わせ）にて実環境で計画に沿って動けるかを確認した。

- ・行動基準・参集基準
- ・利用者職員の安否確認・連絡方法
- ・電気ガス水道道路などのインフラ復旧の目安を踏まえ、部署における事前の備え
- ・施設内外の避難場所、避難方法 など

上記の項目において確認し、職員の災害への危機意識や被害想定イメージを深めるとともに不明な点や不備・欠落、事前の取り決めなどについて協議した。

→【地域との協力や連携】

大津自治会、中浜自治会住民の方に対して、法人を避難場所として活用できることの情報発信を行った。今後も地域のニーズなども把握したうえで協力体制を築いていく。

### 3. その他

特になし

次回開催日：令和8年3月18日（水）9:30～10:30